



## 挨拶

坂元町町内会長 山下俊明

昨年九月の坂元町町内会臨時総会で、町内会会长の任命を受けて早いもので六ヶ月が過ぎました。これまでに町内会の役員の経験はありませんでしたが、現在の町内会運営の変化には驚いたところがあります。今、各役員の方々と話し合いをしながら、より良い町内を目指し活動しているところです。

「できる人が、できる時に」で役員の協力を得て役員との「絆」をつくり、住みよい町づくり、賑やかな町内会を目指して進んでいます。

以前に町内会の役員の経験はありませんでしたが、現在の町内会運営の変化には驚いたところがあります。午後からは正月飾りのミニ門松作りワークシヨップが開催され、子どもも大人も思いのままに、個性豊かなミニ門松を作りました。参加者からは「また来年も作りたい」と嬉しい声も。

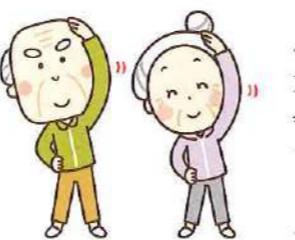


## 餅つきとミニ門松作り

十二月二十二日（日）、生憎の雨の中、ちびっ子餅つき大会が、地域の大勢の子ども達の参加を得て同朋寺で開催されました。

小さな杵でみんなの掛け声と一緒にお餅をつき、洋服が粉だらけになりながらお餅を丸め、笑顔が絶えないひと時を過ごしました。

## 会場も一緒になってストレッチ



実際はラジオ体操の後に20項目の運動を約20分間掛けて行うのですが時間の都合上、10分間に短縮しての紹介でした。

舞台の上から見て驚いたのは、最初に「皆さんも一緒に……」とアナウンスしたからでしょうが、椅子に座っていらっしゃる観客の方々、来賓の方、また、実行委員の方々まで多くの方が一緒に体を動かしていました。

そのような状態を見て「皆さん健康つくりには興味があるんだなあ」と思ったのは自分だけではなかったようです。

今の時期は寒くて、早朝体操に行く自信のない方でも、暖かくなる春先からでも、是非ラジオ体操に参加して、体力つくりから健康つくりへと変身していく自分を思い浮かべてみませんか。家を出る時から帰宅するまで、無駄のない健康つくりで一日を始めましょう。

（ラジオ体操同好会）



十二月二日、市民文化ホールにおいて、鹿児島市で活動する民生委員・児童委員（以下民児委員）千二百名余へ加藤勝信厚生労働大臣からの委嘱状の伝達式があり、委嘱状は森鹿児島市長から地区の代表者へ手渡されました。

その後森市長の「皆さんのたゆまない活動が、地域の方々の福祉向上につながっています」など、お礼と励ましの挨拶がありました。

坂元台校区の民生委員も全員参加して、気持ちを新たにこれから三年間の民事委員としての任務を自覚

し、地区の社会福祉の増進に努める

ことを再確認することでした。

坂元台校区では十五名の民事委員で活動していますが、生活や子どものことなどで困ったことなどあります。ひと煮立ちしてカップに移して冷やします。

紙面の都合上、委員の名前などは掲載しませんが、前年度と変更はありません。近日中に発行される「福祉館便り」には詳しく掲載されます。文末の代表者に電話連絡いただ

くと対応して参ります。

坂元台校区民児協会会長 高山鉄朗  
玉里町地二丁目六十六の十五  
電話 八〇二一四六

## 民生委員・児童委員の委嘱

## キンカンの甘露煮とゼリーをお手軽に！

庭先で可愛く実るキンカンには、豊富なビタミンCが含まれ、昔から身近な風邪予防として食されていますが、そのキンカンの甘露煮から美味しいゼリーを作ってみましょう。

## キンカンの甘露煮

- ・ヘタを取り半分に切って中の種を取り出します。
- ・少量の水で煮て、沸騰したら砂糖やザラメを入れて弱火で好みの甘さに煮あげます。

これで甘露煮は完成ですが、次にキンカンゼリーを作つてみましょう。

## キンカンゼリー（カップ3個分）

- ・キンカンシロップ、水、砂糖、お湯で溶いたゼラチン1袋を250ccになるように量と甘さを調整します。
- ・ひと煮立ちしてカップに移して冷やします。
- ・完全に固まる前に数個のキンカンをのせて完成です。

こども達のおやつとして、また、大人のお茶うけとして作つてみましょう！！

（社協 新納）



新春の年賀状に、「これでおしまい」と書いたのが一通あった。高校同期の女性からと曰同僚からの。彼女は聰明な人で弟の進学を支えようとして就職。結婚して鹿児島に出た。男の子を二人育てる傍ら、県産鑑定士資格取得に努め、これが長男Q大、次男T大への進学を助けた。ここまでなら、親の生涯学習が子どもの自主学習を育てたという美談で終わろう。

実は彼女、数年前思い出深い家屋敷を処分して月額二十五万円の介護付きマンションに越している。家に子ども達にも執着せずに、自分で選んだ終わりの棲家で祈りの日々を過ごす最後を選んだらしい。それ以前には、子ども達が自立した後、一

人ドイツに留学した。「よくもまあ主人が同意したね」と聞くと「あの人ね、自分で稼いだお金だ。行つておいで」と、自立した夫婦だつた。ドイツを選んだのは、カトリック信仰指導の神父さんが南ドイツ出身だたせいかと思う。もう一人の旧同僚は七十五歳。ここで自分なりの生き方を探したいとする。結構な思いだが、まだ後期高齢の入り口。家も子どもも捨てる勇気と金があるか。寝たきりになつたら家族が看てくれるか、介護問題は起きないか、少しの遺産が争族をつくらないか等の問題もある。さらには家族や地域の隣人・関係者に「世話になつた。自分は幸せだったよ」と伝えるゆとりも要る。最後の問題取り組みを見守りたい。

令和二年「子の歳」、今年も坂元台小学校では「おやじの会（代表塩福岩寿）」力作の大きな門松で新年を迎えた。三メートル近い門松は、こども達のたのもしい成長を見守つているように思えました。

門松は中心の三本の竹の周囲を色々な植物で囲んでいます。これま

で何気なく見ていた門松ですが、飾られる植物類のいわれなどを調べてみました。

門松は中心の三本の竹の周囲を

から、歳神を家に迎え入れるための

飾り（豪華な物から若松一本までの

総称で、今は植物の資源保護のため、

行政で「紙門松」を配付している）

門松…木に神が宿るという言われ

から、歳神を祀るために、

竹…冬にも枯れない生命力と繁殖

力の象徴とされる。

梅…早春に他の花に先駆けて、氣

高い香りの美しい花を咲かせること

から「氣高さや長寿」の象徴とされる。

ゆずり葉…春に若葉が出た後、古

い葉が落葉する様を世代を子供に

「ゆづる」とか、人に物を「ゆづる」

…という意味で飾る。

南天…「難転」すなわち「難を転ずる」

に通ずることから、縁起の良い木とされる。

千両…お金の千両から、商売繁盛

や家内繁榮。

うらじろ…左右に二枚の葉が広が

ることから、「夫婦円満」を、さらに、

葉の裏が白いことから「清らかな心」

を表します。

その他、葉ぼたんやだいだいなど、

一般的に縁起物と言われるものや、

歳神を祀るための「注連縄（しめなわ）」を飾つて良い一年でありますよ

うにと祈りを込めます。

今年「子の歳」も、こども達の成

長と、校区の皆さ

んにとつて素晴らしい一年でありますよ

うにと祈りを込めます。

（社協 歳男）



## 今年も坂元台小学校の正門に大きな「門松」が



## 交通安全教室

校区女性学級では1月27日に校区公民館において、鹿児島県交通安全協会から講師を招き、交通安全教室を開催しました。

当日は強風と小雨が重なって、出足が危ぶまれましたが、女性講師2名に対し、参加者は30名で予定通りの人数で一安心でした。

ゲーム感覚の札合わせでは、交通標識や信号機などの学習を、また、口の動きを感じさせないベテラン講師による腹話術でのユーモラスな勉強も拍手喝采で、忘れていた交通安全への意識を再認識させられた思いでした。

高齢者の交通事故が多い昨今、「右側通行」や「横断歩道は左右の安全確認をしてから」、また、「夜間の歩行は反射たすきなどを付けることなど、初心にかえって交通事故から我が身を守ることが大切です。

交通安全教室は、「いつでもどこでも伺います」と言う事ですので、校区のお達者クラブや老人会などで企画されることをお勧めします。（校区女性学級広報係）